

地域資源を活用した県内企業の新商品・新役務の開発、販路拡大等の経営革新の取組を支援します。

【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター/  
経営革新・設備資金担当(018-860-5702)まで。

## 秋田から 全国へ、世界へ 株式会社マツザワ

「硬さ試験機」の専門メーカーとして  
技術を極めつつ、立ち止まらずに挑み続ける。  
秋田から、独自の進化を遂げている。

### ユーザーの「信頼」を支えるマシン

今年8月、据え置き型として国内最小となる「工業用硬さ試験機」の生産を開始した株式会社マツザワ。従来型に比べ、サイズは約半分、重量は約1/3を実現し、試験の精度も向上させた。「硬さ試験機」とは、素材である金属や、それを加工した金属部品が、工業規格の安全基準に達しているか強度を測定するもので、金属製品の品質・性能、信頼・安全を保証する重要な役割を果たす。マツザワは、その専門メーカーとして、試験機的设计・開発・製造・販売から、他社製品を含めたメンテナンス、校正までを手がけている。

社の前身は、松沢精機株式会社(東京都)の秋田工場だ。「マツザワブランド」の製造で培った技術を生かして「高品質」「高精度」の試験機づくりに挑んできた。販売先は、海外にまで及び、安定した技術で信頼を得ている。

### 秋田から国内外に勝負を挑む

ライバルは国内に5社ほどだが、海外メーカーを含めると競争は激しい。また、取引先は関西や関東に多く、秋田でのものづくりは、営業や物流の面での不利もあった。「秋田から全国、世界と戦うには、独自性のある製品を作っていないと勝ち残れない」と安保徹社長。秋田からいかに勝負するか。その結晶が、県産業技術センターや秋田大学、県内の企業と連携して開発した冒頭の国内最小の硬さ試験機だ。

従来型である機械式試験機は、工業用ダイヤモンドを鉄の重りで金属に押し付け、できた凹みの大きさか



「あきた企業応援ファンド事業」を活用して開発した「多軸モーターコントローラー」(写真中央)。写真右は硬さ試験機。中央部の多軸ステージ開発も同事業の活用による。硬さ試験機そのものは、主に鉄鋼や自動車のメーカー、工業系の研究施設や学校で使用されている。

ら硬さを測定する。振動に弱く、重い、設置場所が限定されるなどの欠点がある。新型機は、電動モーターを使用し、小型化・軽量化に成功した。機械式と電動モーター式、両方を製品化したメーカーは世界的にも珍しく、「社の大きなPRになる」と安保社長は期待する。

### 新型機の技術を応用

これまでの技術を基に、当センターの「あきた企業応援ファンド事業」を活用し、新型機の「多軸モーターコントローラー」と「多軸ステージ」を開発した。制御装置を搭載しており、ユーザーは手持ちのパソコンにUSBで接続するだけでコントロールが可能になる。また、従来型の試験機などにも接続でき、幅広く活用できる。「この事業を活用することで、開発から販路拡大まで“オール秋田”で進められた」と境屋次長。“秋田発”に込める思いは深い。

## 株式会社マツザワ

(本社)〒019-2611  
秋田県秋田市河辺戸島字七曲台120-19  
Tel.018-882-4580 Fax.018-882-4584  
http://www.matsuzawa-ht.com  
(東京連絡所)東京都練馬区田柄2-43-1-506  
(西日本営業所)奈良県奈良市恋の窪2-9-17



株式会社マツザワの安保徹社長(右)、技術部の境屋博司次長(左)。「今後は硬さ試験機のさらなる小型化・軽量化に挑む」と安保社長。



硬さ試験機の組立、調整、検査、梱包、出荷を行う一室。



パソコンにUSB接続するだけで、ソフトや硬さ試験機を制御できる。硬さ試験以外にも使える汎用性の高さが魅力。